

令和7年度が「画竜点睛」で終了!

3学期の始業式で、子どもたちに『画竜点睛』の話をしました。以前の学校だよりでもお伝えしましたが、「画竜点睛」とは、龍を描いた最後に瞳を描き入れ『大切な最後の仕上げをすること』という意味で使われます。令和7年度が終わったときに、「よく頑張った1年だった!」と実感できる3学期にしましょう。「画竜点睛」の「瞳」を描き入れるように、これまでの頑張りの最後の仕上げをしましょう!と伝えました。

そして迎えた学年末。まずは3月17日(火)、6年生の小学校生活の集大成となる、

卒業証書授与式

を執り行いました。この卒業式に向け、実行委員会を組んで準備を進めてきた6年生。「別れの言葉」に自分たちの思いを詰め込みたいと、原稿作りから自分たちの手で行いました。卒業式にかけるその思いは、入場から退場まで全ての場面で、実に真剣で、堂々としており、私が間近で見た証書授与のときには、目線一つにまで心を配っている様子が伝わってきました。これまで共に準備を進めてきた6年担任は「これまでの1年間が全て出た素晴らしい態度でした。」と喜び、出席された御来賓や保護者の方々からも、「素晴らしく感動的な卒業式でした」との声を多数いただきました。また、全校児童を代表して参加した5年生も、次のリーダーにふさわしい態度で、特に5年生が6年生に贈った歌「明日へつなぐもの」は、感動的で涙が出ましたとの声が聞こえてくるほど、素晴らしい歌声でした。来年は皆さんの番ですよ。大いに期待しています。式では、卒業生の皆さんに、『選んだ道を正解にする』という言葉を送りました。私たちは人生の中で色々な選択の場面に出会います。どの道を選んだとしても、また選ばざるを得なかったとしても、自分が置かれた場所を精一杯生き、自分らしく輝き、結果として、「あ〜っ、良い人生だった!」と充実感を持って振り返られる人生を歩んで欲しいと思います。卒業生の未来が輝かしものになりますようにお祈りいたします。

そして卒業式からちょうど1週間後の3月24日(火)に、

終了式

令和7年度を終了式を行い、各学年の代表に修了証書を手渡しました。式では、1年間を振り返りながら、全校みんなが、自分たちの力で学校生活をより良くしようと自主的に取り組んだこと、学習では、学んだことを生かしたり、友だちを話し合ったりしながら課題を解決しようとしたこと、修了式で真剣に話を聞く姿を褒めました。そして、子どもたちと先生方が力を合わせ、1年間みんな目指してきた、「笑顔あふれるみ・た・ち・や・ま」という大きな目標に、最後しっかりと「大きな瞳を描き入れられたこと」を、共に喜び合いました。

来年は、新リーダーとなる6年生を中心に、自分たちの手でもっともっと素晴らしい学校にする学校、子どもたちにとっても、職員、保護者、地域の皆様にとっても「自慢の御館山小学校!」「大好きな御館山小学校!」そんな学校の実現に向けて、学校・地域一体となって頑張られることを楽しみにしています。

来年度から御小はコミュニティスクールに移行します。

本校ではこれまで「学校支援会議」を通じ、ボランティア活動等の形で地域の皆様や保護者の皆様に、教育活動への多大なるご支援をいただいております。この度、これまでの連携をさらに一歩進め、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの成長を支える「地域とともにある学校」づくりを推進するため、令和8年4月より学校支援会議にかえて「学校運営協議会」を設置し、いわゆる「コミュニティ・スクール」へと移行することといたしました。

1. 学校運営協議会とは

学校運営協議会は、校長、教職員、保護者代表、地域住民代表などが委員となり、学校の運営方針(教育目標や重点取組など)について協議し、承認を行う役割を担います。本校では、地域の各団体の代表の方、PTA代表、学校職員代表等18名の委員でスタートさせる予定です。

2. 移行によって変わる点

この移行は、これまで頂いてきた支援を、より良い学校づくりのための『話し合い』の場として整理・発展させるものです。これまでの「学校支援会議」が主に活動を通じた支援を中心としていたのに対し、学校運営協議会では、学校が抱える課題や目指すべき子供像を「当事者」として共有し、話し合います。保護者・地域の代表が委員として参画することで、学校運営に対してより直接的に意見を届けることもできます。保護者や地域の方々による教育活動等に対するご支援についても継続してお願いをしております。

3. 保護者の皆様へのごお願い

この移行により、学校がより開かれた存在となり、地域全体で子供たちを育てる体制へと整えてまいります。保護者の皆様には、今後とも、本校の教育活動への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

1ねんかんをふりかえって!

修了式では、この1年間で大きく成長した1年生から、代表の5名が「1年間の振り返り」を発表しました。スペースの関係で、一部抜粋になりますが、1年生の1年間の頑張りをご覧ください。

わたしの1ばんのおもいでは、てつぼうでコウモリができるようになったことです。2ねんせいでもがんばりたいです。 1ねん1くみ 水本ゆづき

わたしができるようになったことは、さか上がりです。はじめてできたときほどうれしかったです。2ねんせいでもいろいろなわざにちょうせんします。 1ねん2くみ 森るりか

この1ねんかんでできるようになったことは、げんきなあいさつです。ゆうきをだしていつてみたらだんだんできるようになりました。 1ねん3くみ 山口つばさ

わたしの1ばんのおもいでは、6ねんせいがやさしくしてくれたことです。あたらしい1ねんせいが入ってきたら、6ねんせいみたいにすくたすけます。 1ねん4くみ 松尾あき

1ねんせいでの1ばんのおもいでは学しゆうはつびょうかいです。本ばんはけんばんハーモニカをリズムよくたのしくひけました。 1ねん5くみ おかべはんな

今号をもちまして「御小 子通信」は最終号となります。ご愛読ありがとうございました。